

授業科目	地域観光政策特別演習 Regional Tourism Policy			担当教員	滝 知則		
展開方法	演習	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
この授業では、地域の観光政策の立案ならびに実施の過程を調査したり、政策の評価と提言を試みたりする。これを通じ、自分が行う観光活動の研究に、政治過程の分析視角を組み入れられるようになる。							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	(1) 報告の読み手・聞き手に分かりやすく説明できる。			レジュメのまとめ方と報告のしかた		20%	
	(2) 十分な準備の上で、自信を持ってインタビューできる。			インタビューの準備のしかた		10%	
思考・判断	(1) 国レベルの政策と地域レベルの政策の特徴の違いを述べることができる。			授業での報告		10%	
	(2) 政策分野全体との関連で、観光政策の特徴を述べる ことができる。			研究レポート		10%	
技能・表現						%	
知識・理解	(1) 政策形成過程に関わる概念を正確に理解する。 (2) 各レベルの政策の特徴を把握する。 (3) これらの理解に基づき、研究対象とする観光活動の 実状を簡潔にまとめることができる。			研究レポート		50%	
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
普段の授業への取り組み方（レジュメのまとめ方と報告のしかた20%、授業での報告10%）、インタビューの準備（10%）、研究レポート（60%）を総合的に評価する。							
授業の概要							
(1) 研究対象とする観光地を設定する。 (2) 各回のテーマに関し、指定された資料の要点をレジュメにまとめて報告する。その後、質疑応答を行う。 (3) 研究対象に関わる観光政策について、政策立案ないし実施関係者にインタビューを行う。 (4) 以上の研究結果に基づくプレゼンテーションを行うとともに、研究レポートにまとめる。							
教科書・参考書							
教科書：指定しない。随時資料を配付、ないし指示する。 参考書：指定しない。随時資料を配付、ないし指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
この授業を通じ、自分の研究対象、ならびに自分の研究が持つ意義を、いくつかの異なる軸の中に位置づけることを通じて明らかにする。指示された資料の研究に加え、独自の研究を積極的に行うことを期待する。また、インタビューの準備は、授業開始の時点から行う。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	①この授業の目的、目標とスケジュールの確認 ②研究対象とする実証ケース(インタビューの準備)	インタビューの準備を開始する
2	政策の背景(1)	政策形成の過程 利益表出、政策の決定ならびに実施	政策形成過程を説明するための概念を理解する
3	政策の背景(2)	地方自治と観光政策(その1) 現代日本の中央-地方関係	地域の政治の意義を確認する
4	政策の背景(3)	地方自治と観光政策(その2) 地方自治体の政策分野と観光	他の政策分野と比べての観光政策の特徴
5	政策の形成(1)	国の観光政策 観光立国推進基本法、観光立国推進基本計画	現在の国の政策の特徴を把握する
6	政策の形成(2)	県の観光政策 ①計画と実施体制、②九州の他県との比較	国の政策との関係を把握する
7	政策の形成(3)	市町村の観光政策 ①計画と実施体制、②他の市町村との比較	他の市町村との比較を通じて、特徴をつかむ
8	政策の形成(4)	九州圏の観光政策 ①計画と実施体制、②国との比較、各県との比較	九州各県との関係の特徴をつかむ
9	政策の実施状況(1)	研究対象の観光地の実態把握(その1) 観光統計、観光対象の資料	調査結果を整理する
10	政策の実施状況(2)	研究対象の観光地の実態把握(その2) 研究対象をめぐる観光の実施状況	観光地の説明資料も活用し、実施状況を説明する
11	政策の実施状況(3)	観光政策関係者へのインタビュー 観光政策の形成過程と実施状況について尋ねる	①事前準備、②結果整理を直ちに開始する。
12	政策の実施状況(4)	とりまとめと分析(その1) ①調査の結果明らかになったこと、②新たな課題	新たに気付いた課題を調査する。
13	政策の実施状況(5)	とりまとめと分析(その2) ①新たな課題の調査結果、②政策の評価	プレゼンテーションの準備を行う。
14	プレゼンテーション	研究した観光対象めぐり、次のことを報告する。 ①地域観光政策の意義、②政策の内容、③観光の実情、 ④政策の評価	研究成果の確認、今後の課題の特定
15	全体のまとめ	①研究の成果の確認 ②今後の課題と展望	
16	定期試験		